

2021年10月26日  
キヤノン株式会社

## 2021年12月期 第3四半期 連結決算概要

本日開催の取締役会におきまして、当社の2021年12月期第3四半期（2021年1月1日から2021年9月30日まで）の連結決算を承認いたしましたので、ご報告いたします。

## 連結決算業績ハイライト

【第3四半期】（9月30日に終了した3ヶ月間）

	2020年12月期 第3四半期	2021年12月期 第3四半期	増減率
売上高	百万円 758,881	百万円 833,324	+ 9.8%
営業利益	19,192	58,728	+ 206.0%
税引前四半期純利益	22,808	79,326	+ 247.8%
当社株主に帰属する 四半期純利益	16,658	49,317	+ 196.1%
	円	円	%
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益：			
基本的	15.93	47.16	+ 196.0%
希薄化後	15.93	47.15	+ 196.0%

【第3四半期累計】（9月30日に終了した9ヶ月間）

	2020年12月期 第3四半期累計	2021年12月期 第3四半期累計	増減率	2021年12月期 年間予想	対前期 増減率
売上高	百万円 2,214,508	百万円 2,557,908	+ 15.5%	百万円 3,600,000	+ 13.9%
営業利益	34,314	206,561	+ 502.0%	272,000	+ 146.0%
税引前四半期純利益	50,096	231,147	+ 361.4%	298,000	+ 128.7%
当社株主に帰属する 四半期純利益	29,729	154,920	+ 421.1%	201,000	+ 141.2%
	円	円	%	円	%
1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益：					
基本的	28.29	148.16	+ 423.7%	192.23	+ 142.2%
希薄化後	28.28	148.12	+ 423.8%	192.17	+ 142.2%

	2020年12月期 (2020年12月31日現在)	2021年12月期 (2021年9月30日現在)	増減率
総資産	百万円 4,625,614	百万円 4,752,215	+ 2.7%
株主資本	百万円 2,575,031	百万円 2,740,069	+ 6.4%

(注) 当社の連結財務諸表は米国会計基準に基づき作成しております。

## 2021年12月期 第3四半期決算短信〔米国基準〕(連結)



2021年10月26日

上場取引所 東名札福

上場会社名 キヤノン株式会社

コード番号 7751 URL <https://global.canon/ja/ir/>

代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 CEO (氏名) 御手洗 富士夫

問合せ先責任者 (役職名) 連結経理部長 (氏名) 谷野 幸穂

TEL 03-3758-2111

四半期報告書提出予定日 2021年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

### 1. 2021年12月期第3四半期の連結業績(2021年1月1日～2021年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年12月期第3四半期	2,557,908	15.5	206,561	502.0	231,147	361.4	154,920	421.1
2020年12月期第3四半期	2,214,508	△16.1	34,314	△71.9	50,096	△65.3	29,729	△67.8

(注)四半期包括利益 2021年12月期第3四半期 267,657百万円 (—%) 2020年12月期第3四半期 △6,149百万円 (—%)

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	希薄化後 1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年12月期第3四半期	148.16	148.12
2020年12月期第3四半期	28.29	28.28

#### (2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年12月期第3四半期	4,752,215	2,959,150	2,740,069	57.7
2020年12月期	4,625,614	2,784,041	2,575,031	55.7

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年12月期	—	40.00	—	40.00	80.00
2021年12月期	—	45.00	—	—	—
2021年12月期(予想)	—	—	—	45.00	90.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2021年12月期の連結業績予想(2021年1月1日～2021年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		税引前当期純利益		当社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	3,600,000	13.9	272,000	146.0	298,000	128.7	201,000	141.2	192.23

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数(四半期累計)

2021年12月期3Q	1,333,763,464 株	2020年12月期	1,333,763,464 株
2021年12月期3Q	287,990,173 株	2020年12月期	287,989,819 株
2021年12月期3Q	1,045,632,929 株	2020年12月期3Q	1,051,024,636 株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。業績予想の前提となる仮定等については、4ページ「1. 経営成績及び財政状態(4) 通期の見通し」をご覧ください。

## 目次

1. 経営成績及び財政状態 .....	2
(1) 当四半期の概況 .....	2
(2) 事業の種類別セグメントの状況 .....	3
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	3
(4) 通期の見通し .....	4
2. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書 .....	6
【第3四半期連結会計期間】 .....	6
【第3四半期連結累計期間】 .....	6
四半期連結包括利益計算書 .....	7
【第3四半期連結会計期間】 .....	7
【第3四半期連結累計期間】 .....	7
(3) 四半期連結売上高明細表 .....	8
【第3四半期連結会計期間】 .....	8
【第3四半期連結累計期間】 .....	8
(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	9
(5) 継続企業的前提に関する注記 .....	10
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	10
(7) 四半期連結財務諸表作成の基本となる重要な事項 .....	10
主要な会計方針 .....	10

## 1. 経営成績及び財政状態

### (1) 当四半期の概況

2021年第3四半期の世界経済は、新型コロナウイルスの変異株による感染再拡大や半導体部品の不足により一部の地域では景気の回復ペースが減速したものの、各国でワクチン接種が進み、経済活動は回復が続きました。米国では、感染再拡大により個人消費の回復ペースが鈍化しましたが、設備投資が堅調に推移した結果、景気は底堅さを維持しました。欧州では、各国で経済活動の制限が段階的に緩和され、個人消費の持ち直しや設備投資の拡大により、景気は順調に回復に向かいました。中国では、個人消費は引き続き堅調でしたが、インフラ投資や輸出が伸び悩んだ結果、回復は緩やかなものとなりました。また、その他の新興国については、東南アジアを中心に感染が拡大するなど、引き続き経済活動は停滞しました。わが国では、設備投資が回復基調を維持しましたが、緊急事態宣言が続いたことにより景気の回復は総じて弱いものにとどまりました。

このような状況の中、当社関連市場においては、オフィス向け複合機の需要は回復を続けているものの、半導体部品の不足の影響を受け、緩やかな回復となりました。レーザープリンターの需要は、前年水準並みとなり、インクジェットプリンターは、好調な在宅需要が続きました。カメラ市場は、ミラーレスカメラを中心に堅調に推移しました。医療機器は、新型コロナウイルス感染再拡大により一部の地域で据付の遅延があるものの、医療機関向け営業活動が進み、回復基調が継続しました。露光装置は、半導体露光装置、FPD露光装置ともに堅調に推移しました。

当四半期の平均為替レートにつきましては、米ドルは当四半期が前年同期比で約4円円安の110.10円、当四半期累計では約1円円安の108.59円、ユーロは当四半期が前年同期比で約6円円安の129.86円、当四半期累計では約9円円安の129.89円となりました。

当四半期は、オフィス向け複合機の販売台数が、半導体部品の不足の影響を受け、前年同期を下回りました。一方で、オフィスへの出勤者が徐々に増加するに伴って、サービスと消耗品の売上は緩やかに回復しました。レーザープリンターとインクジェットプリンターにより構成されるプロシューマーについては、東南アジアにおける新型コロナウイルス感染再拡大により生産活動が停滞した影響を受け、販売台数は前年同期を下回りました。一方で、レーザープリンターの消耗品は、需要が減退した前年同期を大きく上回りました。レンズ交換式デジタルカメラは、フルサイズミラーレスカメラが引き続き好調に推移し、前年並みの販売台数となりました。また、多様な用途への展開が進むネットワークカメラは販売活動を強化し、増収となりました。医療機器は、CT装置やX線診断装置などが売上を牽引し、国内を中心に増収となりました。半導体露光装置は堅調に推移し、FPD露光装置は前年同期を大きく上回りました。これらの結果、当四半期の売上高は、前年同期比9.8%増の8,333億円となり、当四半期累計では15.5%増の2兆5,579億円となりました。売上総利益率は、前年同期を3.4ポイント上回る46.6%となり、売上総利益は前年同期比18.4%増の3,880億円となりました。営業費用は生産性の向上と構造改革の成果が表れ、経費率は大きく改善したものの、為替の影響などにより前年同期比6.8%増の3,292億円となりました。その結果、営業利益は前年同期比206.0%増の587億円となりました。営業外収益及び費用は有価証券評価益などにより、前年同期比で170億円好転し、206億円の収益となりました。税引前四半期純利益は前年同期比247.8%増の793億円、当社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比196.1%増の493億円となりました。当四半期累計では、営業利益は前年同期比502.0%増の2,066億円、税引前四半期純利益は前年同期比361.4%増の2,311億円、当社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比421.1%増の1,549億円となりました。

基本的1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ、31円23銭増の47円16銭、当四半期累計では119円87銭増加し148円16銭となりました。

## (2) 事業の種類別セグメントの状況

当四半期の業績をビジネスユニット別に概観しますと、プリンティングビジネスユニットでは、オフィス向け複合機の需要は回復を続けているものの、半導体部品の不足の影響を受け、販売台数は前年同期を下回りました。imageRUNNER ADVANCE DX シリーズが引き続き好評を得ていますが、供給不足により需要を充足できない状況となりました。一方で、サービスと消耗品は、オフィスの稼働率が回復に向かい増収となりました。プロダクション市場向け機器は、高速カットシートインクジェットプリンターの varioPRINT iX シリーズが好評を得ました。また、サービスと消耗品も回復に向かい増収となりました。レーザープリンターは、東南アジアにおける新型コロナウイルス感染再拡大により生産活動停滞の影響を受け、販売台数は前年同期を下回りましたが、消耗品は需要が減退した前年同期を大きく上回り増収となりました。インクジェットプリンターも、生産活動停滞の影響を受けたこともあり、急速に需要が高まった前年同期の販売台数を下回りました。消耗品の需要は前年同期並みとなりましたが、全体では減収となりました。これらの結果、当ユニットの売上高は、前年同期比 6.8%増の 4,592 億円となり、税引前四半期純利益は前年同期比 213.5%増の 621 億円となりました。当四半期累計の売上高は 9.0%増の 1兆 4,182 億円、税引前四半期純利益は 89.1%増の 1,827 億円となりました。

イメージングビジネスユニットでは、レンズ交換式デジタルカメラは、EOS R5 と EOS R6 の販売が引き続き好調に推移した結果、前年並みの販売台数となりました。また、製品ラインアップを強化したレンズの売上が大きな伸びを示しました。ネットワークカメラは、新型コロナウイルスの影響を受けたものの、防犯や災害監視など従来のニーズに加え、遠隔モニタリングや人の密集度合いの把握など、用途の多様化を背景に販売活動を強化し、増収となりました。これらの結果、当ユニットの売上高は、前年同期比 9.3%増の 1,538 億円となり、税引前四半期純利益は前年同期比 43.2%増の 177 億円となりました。当四半期累計の売上高は 32.6%増の 4,722 億円、税引前四半期純利益は前年同期の赤字から 566 億円の黒字となりました。

メディカルビジネスユニットでは、半導体部品の不足や新型コロナウイルスの感染再拡大により一部の地域では商談や据付への影響がありました。販売が好調な国内を中心に、CT 装置や X 線診断装置の売上が伸長した結果、当ユニットの売上高は前年同期比 9.8%増の 1,157 億円となり、税引前四半期純利益は、前年同期比 105.6%増の 102 億円となりました。当四半期累計の売上高は 12.3%増の 3,519 億円となり、税引前四半期純利益は 70.3%増の 257 億円となりました。

インダストリアルその他ビジネスユニットでは、半導体露光装置は幅広い分野で堅調に推移し、前年同期を上回る販売台数となりました。FPD 露光装置については、パネルの需要が伸び、販売台数は新型コロナウイルスにより設置が停滞していた前年同期を大きく上回りました。これらの結果、当ユニットの売上高は、前年同期比 25.6%増の 1,304 億円となりましたが、新規事業のための先行投資を当四半期において集中的に行ったため、税引前四半期純利益は前年同期比 69.6%減の 15 億円となりました。当四半期累計の売上高は 30.1%増の 3,930 億円、税引前四半期純利益は 90.0%増の 263 億円となりました。

## (3) キャッシュ・フローの状況

当四半期累計の営業キャッシュ・フローは、大幅な増益と運転資金の改善により、前年同期比 1,559 億円増加し、3,500 億円の収入となりました。投資キャッシュ・フローは、CT の基幹部品内製を目的としたレドレン・テクノロジーズ社の買収等により、前年同期から 367 億円増加し、1,484 億円の支出となりました。この結果、フリーキャッシュ・フローは前年同期比で 1,193 億円増加し、2,016 億円の収入となりました。

財務キャッシュ・フローは、長期債務の返済や配当金の支払いなどの支出があった結果、1,400 億円の支出となりました。

これらの結果、当四半期末の現金及び現金同等物は、為替変動の影響分を合わせて、前期末から 746 億円増加し、4,822 億円となりました。

## (4) 通期の見通し

第4四半期以降の世界経済を展望しますと、新型コロナウイルスのワクチン接種が進んだことが、経済活動の再開を引き続き後押しすると予想されます。しかしながら、半導体部品の不足や国際貨物輸送の需給逼迫などのリスクが依然として残り、世界景気の先行きは不透明な状況のため、景気が本格的に回復するには引き続き時間を要することが想定されます。そのような中、長期にわたる各国・各地域のさまざまな経済対策や財政政策が下支えする形で、世界経済は緩やかな回復基調を辿る見通しです。

当社関連市場においては、オフィス向け複合機は、半導体部品の不足の影響を受けているものの、オフィスの稼働率は緩やかに回復する見込みです。レーザープリンターは、在宅需要の増加に加えて、オフィスの需要が回復に向かうと予想されます。インクジェットプリンター市場は、新型コロナウイルスの影響により定着した在宅勤務や在宅学習におけるプリントボリュームが見込まれるため、堅調に推移する見通しです。レンズ交換式デジタルカメラの需要は、高品質な映像表現へのニーズに後押しされ、昨年を若干上回る見通しです。引き続きフルサイズミラーレスカメラとレンズの強化を図り、ミラーレスへのシフトに対応した拡販活動に注力し、プロダクトミックスを改善して参ります。ネットワークカメラは、映像解析ソリューションの需要が高まっており、市場の安定した拡大を背景に、成長を続ける見通しです。医療機器については、新型コロナウイルス感染再拡大による影響が懸念されますが、市場は回復を続ける見通しです。半導体露光装置は、幅広い分野で引き続き需要の増加が継続すると想定されます。

通期の業績見通しの前提となる第4四半期の為替レートにつきましては、米ドル 112 円、ユーロ 130 円とし、通期の前期比で米ドルは約 3 円の円安、ユーロは約 8 円の円安を想定しております。通期の連結業績見通しは、堅調な需要を背景に、売上高 3 兆 6,000 億円（前期比 13.9%増）を据え置きますが、営業利益は 2,720 億円（前期比 146.0%増）とします。一方、有価証券評価益等を反映し、税引前当期純利益 2,980 億円（前期比 128.7%増）及び当社株主に帰属する当期純利益 2,010 億円（前期比 141.2%増）は前回発表を据え置きます。

## 【連結業績予想】

通期（2021年1月1日～2021年12月31日）

（単位 百万円）

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)	前期実績 (C)	増減率(% (B - C)/C
売上高	3,600,000	3,600,000	-	3,160,243	+13.9%
営業利益	283,000	272,000	△11,000	110,547	+146.0%
税引前当期純利益	298,000	298,000	-	130,280	+128.7%
当社株主に帰属する 当期純利益	201,000	201,000	-	83,318	+141.2%

## 2. 四半期連結財務諸表

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位 百万円)

科 目		2020年12月期 (2020年12月31日現在)	2021年12月期 (2021年9月30日現在)	増 減
資 産 の 部	流動資産	(1,789,143)	(1,893,224)	(104,081)
	現金及び現金同等物	407,684	482,240	74,556
	短期投資	71	92	21
	売上債権	546,771	467,343	△79,428
	たな卸資産	562,807	636,304	73,497
	前払費用及びその他の流動資産	284,556	320,242	35,686
	信用損失引当金	△12,746	△12,997	△251
	固定資産	(2,836,471)	(2,858,991)	(22,520)
	長期債権	17,276	16,245	△1,031
	投資	49,994	63,198	13,204
	有形固定資産	1,037,680	1,037,717	37
	オペレーティングリース使用権資産	107,361	94,875	△12,486
	無形固定資産	318,497	298,841	△19,656
	のれん	915,564	956,943	41,379
	その他の資産	392,066	393,487	1,421
	信用損失引当金	△1,967	△2,315	△348
	資産合計	4,625,614	4,752,215	126,601
負 債 及 び 純 資 産 の 部	流動負債	(1,326,189)	(1,344,849)	(18,660)
	短期借入金及び1年以内に 返済する長期債務	392,235	345,860	△46,375
	買入債務	303,809	327,793	23,984
	未払法人税等	18,761	43,412	24,651
	未払費用	317,716	333,907	16,191
	短期オペレーティングリース負債	32,307	30,023	△2,284
	その他の流動負債	261,361	263,854	2,493
	固定負債	(515,384)	(448,216)	(△67,168)
	長期債務	4,834	5,924	1,090
	未払退職及び年金費用	345,897	294,507	△51,390
	長期オペレーティングリース負債	76,796	65,830	△10,966
	その他の固定負債	87,857	81,955	△5,902
	負債合計	(1,841,573)	(1,793,065)	(△48,508)
	株主資本	(2,575,031)	(2,740,069)	(165,038)
	資本金	174,762	174,762	-
	資本剰余金	404,620	404,549	△71
	利益剰余金合計	(3,478,807)	(3,544,825)	(66,018)
	利益準備金	69,436	68,670	△766
	その他の利益剰余金	3,409,371	3,476,155	66,784
	その他の包括利益(損失)累計額	△324,789	△225,705	99,084
自己株式	△1,158,369	△1,158,362	7	
非支配持分	209,010	219,081	10,071	
純資産合計	(2,784,041)	(2,959,150)	(175,109)	
負債及び純資産合計	4,625,614	4,752,215	126,601	

\*当社は、2021年第1四半期より、基準書2016-13「金融商品-信用損失-金融商品における信用損失の測定」で定義される信用損失引当金についての表示を変更しております。これに伴い、2020年12月期の連結貸借対照表についても変更して開示しております。

	2020年12月31日	2021年9月30日
(注) 1. 減価償却累計額	2,770,106	2,837,487
2. その他の包括利益(損失)累計額内訳		
為替換算調整額	△113,646	△34,237
金融派生商品損益	100	△247
年金債務調整額	△211,243	△191,221



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

【第3四半期連結会計期間】 (9月30日に終了した3ヶ月間)

(単位 百万円)

科 目	2020年12月期 (2020年7月1日～ 2020年9月30日)		2021年12月期 (2021年7月1日～ 2021年9月30日)		増 減 金 額
	金 額	(%)	金 額	(%)	
売上高	758,881	100.0	833,324	100.0	74,443
売上原価	431,305	56.8	445,365	53.4	14,060
売上総利益	327,576	43.2	387,959	46.6	60,383
営業費用					
販売費及び一般管理費	240,313	31.7	256,531	30.9	16,218
研究開発費	68,071	9.0	72,700	8.7	4,629
合計	308,384	40.7	329,231	39.6	20,847
営業利益	19,192	2.5	58,728	7.0	39,536
営業外収益及び費用					
受取利息及び配当金	657		482		△175
支払利息	△206		△94		112
その他－純額	3,165		20,210		17,045
合計	3,616	0.5	20,598	2.5	16,982
税引前四半期純利益	22,808	3.0	79,326	9.5	56,518
法人税等	3,648	0.5	25,001	3.0	21,353
非支配持分控除前 四半期純利益	19,160	2.5	54,325	6.5	35,165
非支配持分帰属損益	2,502	0.3	5,008	0.6	2,506
当社株主に帰属する 四半期純利益	16,658	2.2	49,317	5.9	32,659

【第3四半期連結累計期間】 (9月30日に終了した9ヶ月間)

(単位 百万円)

科 目	2020年12月期 (2020年1月1日～ 2020年9月30日)		2021年12月期 (2021年1月1日～ 2021年9月30日)		増 減 金 額
	金 額	(%)	金 額	(%)	
売上高	2,214,508	100.0	2,557,908	100.0	343,400
売上原価	1,252,954	56.6	1,367,967	53.5	115,013
売上総利益	961,554	43.4	1,189,941	46.5	228,387
営業費用					
販売費及び一般管理費	727,504	32.9	772,370	30.2	44,866
研究開発費	199,736	9.0	211,010	8.2	11,274
合計	927,240	41.9	983,380	38.4	56,140
営業利益	34,314	1.5	206,561	8.1	172,247
営業外収益及び費用					
受取利息及び配当金	2,282		1,519		△763
支払利息	△594		△442		152
その他－純額	14,094		23,509		9,415
合計	15,782	0.8	24,586	0.9	8,804
税引前四半期純利益	50,096	2.3	231,147	9.0	181,051
法人税等	11,952	0.6	63,734	2.5	51,782
非支配持分控除前 四半期純利益	38,144	1.7	167,413	6.5	129,269
非支配持分帰属損益	8,415	0.4	12,493	0.4	4,078
当社株主に帰属する 四半期純利益	29,729	1.3	154,920	6.1	125,191

(四半期連結包括利益計算書)

【第3四半期連結会計期間】 (9月30日に終了した3ヶ月間)

(単位 百万円)

科 目	2020年12月期 (2020年7月1日～ 2020年9月30日)	2021年12月期 (2021年7月1日～ 2021年9月30日)	増 減
	金 額	金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益	19,160	54,325	35,165
その他の包括利益(損失) - 税効果調整後			
為替換算調整額	△757	△7,584	△6,827
金融派生商品損益	43	321	278
年金債務調整額	1,228	△118	△1,346
合計	514	△7,381	△7,895
四半期包括利益(損失)	19,674	46,944	27,270
非支配持分帰属四半期包括利益	2,666	5,235	2,569
当社株主に帰属する 四半期包括利益(損失)	17,008	41,709	24,701

【第3四半期連結累計期間】 (9月30日に終了した9ヶ月間)

(単位 百万円)

科 目	2020年12月期 (2020年1月1日～ 2020年9月30日)	2021年12月期 (2021年1月1日～ 2021年9月30日)	増 減
	金 額	金 額	金 額
非支配持分控除前 四半期純利益	38,144	167,413	129,269
その他の包括利益(損失) - 税効果調整後			
為替換算調整額	△36,333	80,433	116,766
金融派生商品損益	558	△324	△882
年金債務調整額	△8,518	20,135	28,653
合計	△44,293	100,244	144,537
四半期包括利益(損失)	△6,149	267,657	273,806
非支配持分帰属四半期包括利益	8,818	13,653	4,835
当社株主に帰属する 四半期包括利益(損失)	△14,967	254,004	268,971

(3) 四半期連結売上高明細表

【第3四半期連結会計期間】 (9月30日に終了した3ヶ月間)

(単位 百万円)

区 分	2020年12月期 (2020年7月1日～ 2020年9月30日)		2021年12月期 (2021年7月1日～ 2021年9月30日)		2021年12月期 2020年12月期 %
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	
プリンティング	430,070	56.7	459,201	55.1	106.8
イメージング	140,678	18.5	153,784	18.5	109.3
メディカル	105,376	13.9	115,714	13.9	109.8
インダストリアルその他	103,809	13.7	130,381	15.6	125.6
消 去	△21,052	△2.8	△25,756	△3.1	—
合 計	758,881	100.0	833,324	100.0	109.8
国 内	192,817	25.4	186,435	22.4	96.7
海 外	566,064	74.6	646,889	77.6	114.3
米 州	202,463	26.7	244,611	29.4	120.8
欧 州	195,737	25.8	206,069	24.7	105.3
ア ジ ア ・ オ セ ア ニ ア	167,864	22.1	196,209	23.5	116.9

【第3四半期連結累計期間】 (9月30日に終了した9ヶ月間)

(単位 百万円)

区 分	2020年12月期 (2020年1月1日～ 2020年9月30日)		2021年12月期 (2021年1月1日～ 2021年9月30日)		2021年12月期 2020年12月期 %
	金 額	構成比 %	金 額	構成比 %	
プリンティング	1,301,339	58.8	1,418,197	55.4	109.0
イメージング	356,029	16.1	472,235	18.5	132.6
メディカル	313,322	14.1	351,905	13.8	112.3
インダストリアルその他	302,163	13.6	392,998	15.4	130.1
消 去	△58,345	△2.6	△77,427	△3.1	—
合 計	2,214,508	100.0	2,557,908	100.0	115.5
国 内	584,788	26.4	602,013	23.5	102.9
海 外	1,629,720	73.6	1,955,895	76.5	120.0
米 州	600,699	27.1	710,299	27.8	118.2
欧 州	554,162	25.0	652,584	25.5	117.8
ア ジ ア ・ オ セ ア ニ ア	474,859	21.5	593,012	23.2	124.9

\*当社は、内部報告及び管理体制の変更に基づき、2021年第1四半期より、セグメント区分の名称および構成をプリンティングビジネスユニット、イメージングビジネスユニット、メディカルビジネスユニット、インダストリアルその他ビジネスユニットに変更しております。これに伴い、2020年第3四半期連結会計期間及び2020年第3四半期連結累計期間についても変更して開示しております。

(注) 1. 事業の種類別セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

プリンティングビジネスユニット：

オフィス向け複合機、ドキュメントソリューション、レーザー複合機、レーザープリンター、  
インクジェットプリンター、イメージスキャナー、電卓、デジタル連帳プリンター、デジタルカットシートプリンター、  
ワイドフォーマットプリンター、大判インクジェットプリンター、業務用フォトプリンター

イメージングビジネスユニット：

レンズ交換式デジタルカメラ、コンパクトデジタルカメラ、交換レンズ、  
コンパクトフォトプリンター、ネットワークカメラ、デジタルビデオカメラ、デジタルシネマカメラ、  
マルチメディアプロジェクター、放送機器

メディカルビジネスユニット：

デジタルラジオグラフィ、X線診断装置、CT装置、MRI装置、超音波診断装置、検体検査装置、眼科機器

インダストリアルその他ビジネスユニット：

半導体露光装置、FPD露光装置、有機ELディスプレイ製造装置、真空薄膜形成装置、ダイボンダー、  
マイクロモーター、ハンディターミナル、ドキュメントスキャナー

2. 地域の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

米 州：米国、カナダ、中南米諸国

欧 州：イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、欧州諸国、アフリカ・中近東諸国

アジア・オセアニア：中国、アジア諸国、オーストラリア

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位 百万円)

	2020年12月期 (2020年1月1日～ 2020年9月30日)	2021年12月期 (2021年1月1日～ 2021年9月30日)
<b>I 営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
非支配持分控除前四半期純利益	38,144	167,413
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	166,221	161,372
固定資産売却損	888	6,185
法人税等繰延税額	△6,224	2,170
売上債権の減少	99,975	95,423
たな卸資産の増加	△41,843	△54,239
買入債務の増加(△減少)	△23,945	33,550
未払法人税等の増加(△減少)	△7,519	24,503
未払費用の増加(△減少)	△7,918	5,359
未払退職及び年金費用の減少	△9,548	△31,928
その他—純額	△14,164	△59,837
営業活動によるキャッシュ・フロー	194,067	349,971
<b>II 投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
固定資産購入額	△120,632	△123,095
固定資産売却額	7,617	2,102
有価証券購入額	△560	△1,633
有価証券売却額及び償還額	435	1,707
定期預金の減少(△増加)—純額	1,635	△14
事業取得額(取得現金控除後)	△127	△29,072
その他—純額	△66	1,654
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111,698	△148,351
<b>III 財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期債務による調達額	2,100	1,100
長期債務の返済額	△873	△47,518
短期借入金の増加(△減少)—純額	185,767	△882
配当金の支払額	△126,938	△88,891
自己株式取得及び処分	△50,005	△14
その他—純額	△3,150	△3,781
財務活動によるキャッシュ・フロー	6,901	△139,986
為替変動の現金及び現金同等物への影響額	△1,797	12,922
現金及び現金同等物の純増減額	87,473	74,556
現金及び現金同等物の期首残高	412,814	407,684
現金及び現金同等物の四半期末残高	500,287	482,240

(5) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 四半期連結財務諸表作成の基本となる重要な事項

主要な会計方針

当社の連結財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に基づいて作成されております。